新あま市民病院 見学会を開催します

9月 19日(土)・20日(日)

新あま市民病院が11月5日(木)に外来診療を開始します。現在、医療機器の搬入など準備作業を行っていますが、新しくなった病院内をいち早く皆さんにご案内します。どなたでも自由に見学コースをご覧いただけますので、この機会にご来院ください。

とき　9月19(土)・20(日)午前10時～午後4時(最終入場　午後3時30分)

ところ　新あま市民病院(あま市甚目寺畦田)

駐車場　新あま市民病院・甚目寺東小学校校庭・JA海部東甚目寺支店・甚目寺庁舎・甚目寺中学校体育館前・現あま市民病院

※指定駐車場以外は駐車禁止

その他　参加費無料・事前申込不要

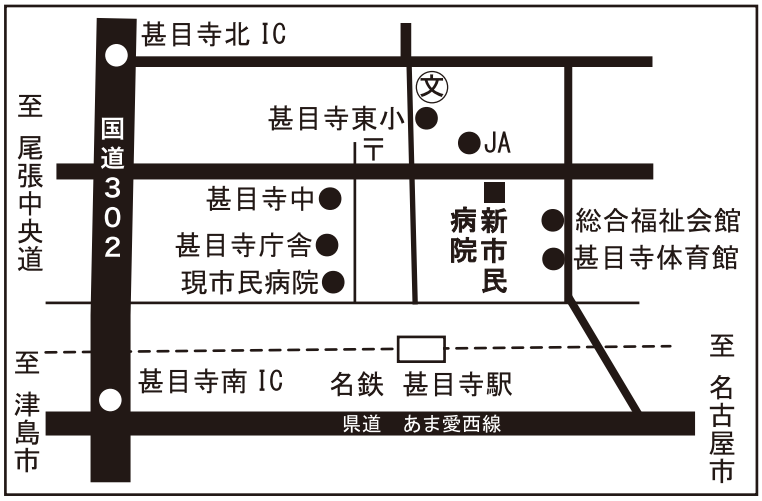
◉両日 午前10時30分から演奏会を開催します

19日(土)　甚目寺南中学校吹奏楽部

20日(日)　甚目寺中学校吹奏楽部

問合せ先　あま市民病院　病院建設課

☎(444)0050



歯の健康講座

海部歯科医師会

「差し歯の話」

「この歯を抜いて、差し歯を入れてください。」こうおっしゃる方が、たまにお見えになります。しかし、差し歯を差すのは、歯茎ではなく歯根(歯の根っこ)です。差し歯は最低限しっかりとした根が残っていないと差せません。残念ながら、歯を失ってからは、差し歯はできません。では、歯がなくなったら、どうなるのか。

まずは、入れ歯。顎付きで、他に歯が残っていれば金具で引っ掛けて固定します。取り外して、手入れをします。

次に、ブリッジ。隣に2本以上しっかりとした歯が残っていれば、それを削って冠をかぶせ、歯のないところの冠とつなげて3本以上の冠を入れるものです。固定されているので歯磨きして手入れできますが、少し注意が必要です。

あとは、インプラント。顎に人工歯根を打ち込んで、それにインプラント用の差し歯を差します。手入れは歯磨きですが、やはり少し注意が必要です。現在は保険適用外です。

どの方法も、一長一短あって、できれば歯を失うことを避けたいですよね。抜かざるを得ない状況になってその後の治療法を心配される方がお見えになりますが、選択肢は意外に限られています。今ある元気な歯を大切にしましょう。